

# 公益財団法人熊本県環境整備事業団ホームページリニューアル業務委託基本仕様書

## 1 業務委託名

公益財団法人熊本県環境整備事業団ホームページリニューアル業務

## 2 業務の目的

公益財団法人熊本県環境整備事業団ホームページは、運用開始以来、エコアくまもとの情報を速やかに発信してきた。

しかし、ICT（情報通信技術）の発展や急速に進むモバイルファースト化への対応、分かりやすい情報発信、ホームページ更新作業の行いにくさ等、運用を行ううえで様々な課題が見受けられるようになった。

そのため、①広報力を高めること、②使いやすさを高めることをリニューアルの基本方針とし、時代のニーズに合わせたホームページを構築する。

## 3 委託期間

契約締結日から令和9年（2027年）3月31日（水）まで

〔ホームページ構築業務：契約締結日から令和8年（2026年）8月31日（月）まで  
運用・保守業務：令和8年（2026年）9月1日（火）から令和9年（2027年）3月31日（水）まで〕

## 4 業務内容

### 4.1 サイト構築

#### （1）設計

現状の当事業団ホームページは下記の課題がある。

#### ○トップページ

- ・メニューの項目が多く、見づらい。
- ・新着情報に過年度の情報が残り続け、古い情報が掲載されている。
- ・デザインやレイアウト、色使いに統一感がない。
- ・目的の記事、データを見つけにくい。
- ・スマートフォンページ等に最適化されていない。

#### ○個別ページ

- ・情報が並びすぎている。
- ・長期間更新されていない記事があり、古い情報が掲載されている。
- ・目的の記事、データを見つけにくい。
- ・スマートフォンページ等に最適化されていない。

#### ○その他

- ・管理者の更新作業が煩雑である。
- ・情報が分散している。
- ・検索機能がない。

- ・ウェブアクセシビリティを満たしていない。

上記の現状の課題を参考に、現行ホームページを精査し、当事業団と協議しながら最適なサイト設計を行うこと。

また、サイト全体として標準化・統一化されたデザインとし、掲載項目の整理、閲覧者のアクセシビリティ、ユーザビリティ、利用者の表示速度に配慮したサイト設計を行うこと。

さらに、急速に進むモバイルファースト化を勘案し、PCだけでなくスマートフォンやタブレット端末等のデザインも重視し、閲覧者が情報をスムーズに取得できるサイトを設計すること。

#### ○トップページ

- ・情報が多くなならないよう新着情報や、メニュー項目、レイアウトを整理し、視覚的にどこに何があるか容易に把握できるようにすること。
- ・エコアくまもとを積極的に PR できる写真を前面に配置することで、ビジュアルによるイメージ訴求を効果的に行うこと。
- ・デザイン、写真差替え等の軽微な変更を管理者が容易に行えること。
- ・スマートフォンページ等に最適化すること。

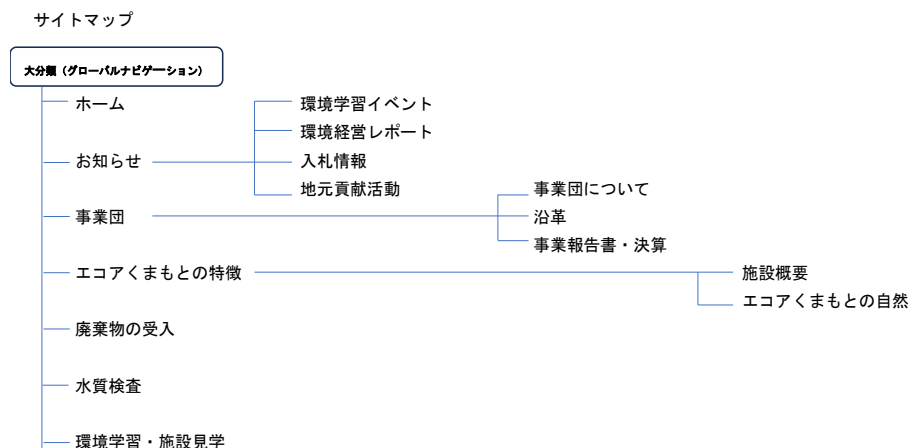
#### ○個別ページ

- ・一定期間を経ると不要となる記事について、公開期限を設定し期限到来時に自動で非公開にできること。
- ・目的とする記事に、トップページから3クリック程度でたどり着ける階層構造とすること。
- ・大分類の項目やラベリング、不足していると思われるコンテンツや機能などについても勘案すること。
- ・デザイン、写真差替え等の軽微な変更を管理者が容易に行えること。
- ・スマートフォンページ等に最適化すること。

#### ○その他

- ・事業団連絡先情報を閲覧者に分かりやすく見せるために、トップページ及び個別ページの目立つ位置に固定で表示すること。

※サイトマップは次のとおり。



## (2) テンプレート作成

各ページのデザインに合わせたテンプレートを作成し、CMS に実装すること。

テンプレート作成の要件は、以下のとおり。

- ・ ホームページのデザインにあわせた本文用のテンプレートを作成すること。
- ・ テンプレートは、HTML 等の特別の知識がない者でも、変更や新規作成、追加が可能であること。
- ・ PC、スマートフォン等で表示した際に、解像度により表示を最適化できること。  
また、画像等についてはスマートフォン等で拡大することができること。
- ・ 印刷した場合に文字が切れる等の不具合が無いようにすること。
- ・ テンプレートの最終決定は当事業団と協議の上、行うこと。

## (3) アクセシビリティへの配慮

日本産業規格 (JIS X 8341-3:2016) で規定されているレベル「AA」に準拠し、様々な立場の利用者であっても使いやすく分かりやすい形で、効率的な情報提供となるホームページを構築することとし、構築後もアクセシビリティチェック機能等を利用し、職員の負担を極力少なくしたうえで適合レベル「AA」準拠を維持すること。

なお、検証範囲・検証方法は双方協議のうえ定めることとする。

## (4) 脆弱性対策

次に掲げる事項を含む既知の種類脆弱性への対策を講じること。

- ・ SQL インジェクション
- ・ OS コマンドインジェクション
- ・ ディレクトリトラバーサル
- ・ セッション管理
- ・ アクセス制御欠如と認可処理欠如
- ・ クロスサイトスクリプティング
- ・ クロスサイトリクエストフォージェリ
- ・ クリックジャッキング
- ・ メールヘッダインジェクション
- ・ HTTP ヘッダインジェクション
- ・ eval インジェクション
- ・ レースコンディション
- ・ バッファオーバーフロー及び整数

## (5) マルチデバイス

スマートフォンやタブレット端末等のデバイスでもスムーズに情報を取得できるよう、デバイスに応じて最適化したページを作成すること。スマートフォンやタブレット

等で閲覧した場合に、横スクロールが発生しない仕様とし、ページ読み込み時点で表示される標準的な文字は、可読性の高い大きさにすること。

トップページについては、PC、スマートフォン、タブレット等の各端末で最適に表示されること。

なお、実現方式は、レスポンシブデザインや、切り替え機能を含め、受託者の提案によるものとする。

#### (6) サイト内検索

検索機能については、トップページの目立つ位置に配置したうえで、サイト内をフリーワード等で検索できる機能を有すること。また、有償又は自社が開発したシステムを使用する場合は、見積金額に含めること。ただし、広告表示等が出るものは不可とする。さらに、機能として以下の点を満たすこと。

- ・利用者が探しているページにヒットしやすい、精度の高い検索ができること。
- ・運用中のサイト分析に利用するため、サイト内検索されたキーワードと検索数が収集できること。

#### (7) アクセス解析

即時性のあるアクセスログを容易に集計、解析できる機能の導入・設定等を行うこと。なお、解析結果は自動集計され、当事業団がウェブブラウザを使って集計結果を閲覧できるようにすること。また、機能として次の点を満たすこと。

- ・ページごとのアクセス件数を把握できること。

### 4.2 システム構築

#### (1) システム基本要件

システムについて、以下の基本要件を満たし、構築することとする。

##### ① 標準性

- ・本システムを構成する製品や技術は、国際標準または業界標準に準拠していること。

##### ② 信頼性

- ・障害発生によるサービス停止を極力避け、障害発生時も、短時間での運用再開を可能とすること。
- ・障害発生前後のデータの整合性を保持できる構成とすること。

##### ③ 拡張性

- ・将来的な利用者増や急激なアクセス増に対する負荷分散等が可能となるようなシステム上の拡張性と柔軟性を確保すること。
- ・登録するコンテンツについては、データ形式とデザインの制御を分離して管理し、将来的な媒体の規格変更やデータ移行、ワンソース・マルチユース化に柔軟に対応できるものとする。

##### ④ 操作性

- ・容易にコンテンツを入力できるユーザーインターフェースを用意し、HTML に関する特別な知識がなくても、ウェブページ作成が可能な仕組みであること。
- ・コンテンツ作成時にプレビューの確認ができること。
- ・システムの運用管理について、専門的な知識や技術を必要としない操作性及びユーザーインターフェースであること。

## (2) システム・サーバー環境

公開サーバー及び CMS サーバーは ASP 方式で、国内のデータセンターに設置し、受注者において管理・運用・保守を行う SaaS 形態、クラウド型サービスとする。

なお、セキュリティ、バックアップなどの条件も含め、運用保守期間中において追加費用なく円滑・安定的な運用が可能な場合は、既存 ASP サービスやホスティングサービスの利用を妨げない。

### ① データセンター要件

- ・日本データセンター協会が策定したファシリティスタンダード Tier3 相当以上のデータセンターとする。

### ② SSL サーバー証明書の導入設定

公開環境に SSL サーバー証明書を導入設定し、公開する全てのページが常時 SSL 化対応されるようにすること。なお、サーバ証明書の更新手続きについては受託者が責任を持って行うこと。自動翻訳ページも SSL 暗号化通信に対応させること。

## (3) ホームページの稼働

365 日 24 時間の稼働を原則とする。なお、何らかの原因によりサービスが停止した場合は、速やかに復旧作業を実施し、ホームページの稼働に支障がないようにすること。

また、セキュリティパッチの適用等、一時的にサービスを停止する場合には、事前に予告を行い、最低限のサービスの停止とすること。

### ① ブラウザ対応

閲覧者がホームページにアクセスする際の利用ブラウザは、以下を想定している。

各ブラウザのサポート期間内の最新版で閲覧した際に、レイアウトが崩れないように表示できること。

- ・ Microsoft Edge
- ・ Google Chrome
- ・ Firefox
- ・ Safari
- ・ スマートフォン (iPhone 及び Android) の標準ブラウザ各最新版
- ・ タブレット端末 (iPad 及び Android タブレット) の標準ブラウザ各最新版

## (4) CMS (コンテンツ管理システム)

当事業団ホームページの作成、運用・管理を一元的に行う CMS の導入・構築及び必要

な設定を行い、利用可能な状態とすること。また、CMS は、以下の要件を満たすこと。

① 基本要件

- ・当事業団ホームページに最適なパッケージ製品であること。
- ・開発ベンダーによるサポートが確立されていること。
- ・専門的な知識がなくても、簡単にコンテンツの作成等ができること。

② 必要とする機能

- ・別紙1「CMS 機能一覧」に示す機能とする。

③ 総合運用試験の実施

- ・構築・導入時は、安定した動作確認のため、運用テストを実施すること。なお、稼働を開始させる前に、アクセス権限等の設定に問題がないことを確認すること。

#### 4.3 データ移行

「4.1 サイト構築」を踏まえてデータ移行を実施すること。

当事業団との協議により決定したデザインテンプレートに、現行ホームページで管理しているコンテンツを取り込むこと。その際、次の点に配慮すること。

(1) 移行手順の検討

現行ホームページのファイル構成を確認するとともに、当事業団の方針を確認した上で移行手順等を決定すること。なお、現行ホームページから新ホームページへのデータ移行は、原則、受託者が実施し、当事業団職員の負担を最低限とする方法をとること。

(2) 移行計画書の作成

受託者は、ページ移行作業の最適な方法、移行方針、スケジュール、役割分担等を記した「移行計画書」を作成すること。その際、移行前のページが移行後にどのようになるのか、画面イメージ等を使って説明すること。

(3) データ移行後の検証

データ移行後、受託者において適切に移行がなされたか突合作業を実施すること。なお「4.1 (3) アクセシビリティ等への配慮」のチェックを満たすとともに、「4.2 (3) ホームページの稼働」で示すブラウザで適切に表示されるかを確認すること。

#### 4.4 操作マニュアルの作成

CMSの操作方法についてシステム管理者向けの「運用マニュアル」及び、ホームページ作成担当者向けの「操作マニュアル」を作成すること。

なお、当事業団における運用の事情や要望を反映して作成し、実施手順に沿って一連の操作方法を解説すること。なお、画面のハードコピーなどを用いて分かりやすく作成し、操作に不慣れな者でも理解できるように、平易な用語を用いること。

#### 4.5 操作研修の実施

システム管理者、ホームページ作成者向けに操作研修を当事業団にて実地にて実施すること。それぞれの人数と時間については概ね以下のとおり想定する。開催時期等については、協議のうえ決定する。

- (1) システム管理者向け研修 1名 × 2時間 × 1回
- (2) ホームページ作成者向け研修 4名 × 1時間 × 1回

研修用マニュアル、および研修に必要な資料の作成を行い、電子データにて納品すること。研修会に必要な資料の印刷等は当事業団が行う。研修会場及び機材（職員が利用するPC、インターネット環境、プロジェクター、スクリーン）は当事業団が準備する。なお、職員の異動等により研修未受講の職員が生じた場合は、別途双方協議のうえ決定することとする。

#### 4.6 システム運用・保守

リニューアル後のシステム運用及び保守等は、本業務の受託者に委託する。

以下の要件等に沿い、システム運用及び保守を行うこと。

##### (1) 運用・保守計画書

受託者は、運用・保守の作業体制（責任者、担当者等）や、作業日程・内容などをまとめた「運用・保守計画書」を作成し、当事業団の承認を得たうえで業務を履行すること。

##### (2) 緊急時の対応

障害が発生した場合は、直ちに障害箇所の特定、影響範囲の調査など障害発生状況把握を行うこと。

収集した障害情報をもとに原因を分析し、障害発生以前の状態まで復旧するとともに、同様の障害が再発しないよう予防措置を講じること。また、復旧後には故障原因及び対策等の報告を行うこと。なお、対象範囲は、CMSに係るハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等、本調達で準備する範囲全てとする。

##### (3) セキュリティ対応

###### ①セキュリティパッチの適用

導入したソフトウェアに対し、セキュリティパッチを適用すること。また、コンテンツに脆弱性が発見された場合に適切なセキュリティ対策を実施すること。なお、セキュリティパッチの適用については、システムに影響がないことを事前に検証し、当事業団の承認をもって実施すること。

###### ②ウイルス対策ソフト定義ファイルの更新

ウイルス対策ソフトの導入、設定等は受託者において実施することとし、導入時に最新のプログラム及びパターンファイルのアップデートを実施すること。その上で、公開後も常に最新の定義ファイルに更新すること。

###### ③サーバー監視

障害監視及びパフォーマンス監視のため、サーバー監視環境を用意すること。

#### ④バックアップ取得

バックアップを取得し、障害発生時に万一データが消失した場合でも、確実にデータの復旧を行えるよう準備すること。

#### ⑤ソフトウェアのバージョンアップ

使用するソフトウェアについては、汎用的なものを使用し、構成については、将来性、拡張性、移植性を考慮すること。そのうえで、ソフトウェアのバージョンアップについては、その適用可否の判断に必要な調査・評価を行い、当事業団に報告すること。また、当事業団の許可を得た上で、バージョンアップ版の提供及びインストール作業を行うこと。

### 4.7 検査及び成果物の納品

#### (1) 移行コンテンツの検査

リニューアル後のホームページが、本仕様書に示す要件を満たした上で、正式稼動できることを確実にするため、検査及び修正の期間を設けること。対応不十分な事項があった場合は、速やかに修正対応すること。

#### (2) 成果物の納品

公開するまでに、以下の物について電子データ及び印刷物を納品すること。

- ・業務完了報告書 1部
- ・ホームページ設計書 1部
- ・運用・操作マニュアル 運用1部、操作4部
- ・運用・保守計画書 1部
- ・その他、本業務で作成されたドキュメントに係るもので、当事業団より指示があったもの

### 5 守秘義務及び個人情報等の保護

受託者は、本業務で知り得た情報を、当事業団の承認を得ずに他にもらしてはならない。

また、個人情報に関わる情報の取扱いについては、別紙2「個人情報取扱特記事項」を遵守するとともに、常時、当事業団の指示に基づき取り扱うものとする。

### 6 著作権

本業務に係る著作権は以下のとおりとする。

- ・導入するソフトウェアについて、パッケージの固有機能に対する著作権はパッケージ開発元に留保する。
- ・導入するソフトウェアについて、本業務で新たに開発された当事業団固有要件への改修に対する著作権は原則として当事業団に帰属する。
- ・ホームページデータ（文書・画像等のデータおよび内容）については、著作権法（昭

和 45 年法律第 48 号) に規定する権利は、成果物の引渡しと同時に、当事業団に帰属するものとする。

- ・その他、ここに定めのない事項については、双方協議のうえ決定するものとする。

## 7 再委託

受託者は、本業務の全部を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

本業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとする場合はあらかじめ「再委託届」を当事業団に提出し、当事業団の承諾を得なければならない。この場合においても、本業務の主たる部分を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

## 8 その他

本仕様書及び別紙 1 「CMS 機能一覧」に明記していないものは、双方協議して定めるものとする。